

北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 8 号 (通巻 No.241)

2007 年 7 月 13 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 13 日に平成 19 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が、水産庁より発表されました。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

今後の見通し (2007 年 7 ~ 9 月)

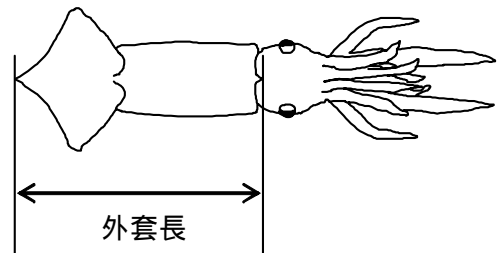
対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 北海道東部 ~ 根室海峡周辺海域、
津軽海峡 ~ 北海道南部海域、
常磐 ~ 三陸海域

対象漁業 : いか釣り、底曳網、定置網、まき網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2007 年級群)

注) 魚体の大きさは外套長で表示(右図参照)



北海道東部 ~ 根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量 : 2006 年を大きく上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 北海道東部海域の漁場形成は 2006 年より早まる。
根室海峡周辺海域の漁場形成は 10 月以降になる。
- (3) 魚体 : 2006 年よりも小型であり、8 月は 16 ~ 22cm が主体。

津軽海峡 ~ 北海道南部海域 (いか釣り、定置網)

- (1) 来遊量 : 津軽海峡内は 2006 年並みかやや上回る。
津軽海峡東口 ~ 北海道南部海域は 2006 年を大きく上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- (3) 魚体 : 2006 年よりも大型であり、8 月は 20 ~ 24cm が主体。

常磐 ~ 三陸海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)

- (1) 来遊量 : 常磐 ~ 三陸南部海域は 2006 年並みかやや上回る。
三陸北部海域は 2006 年を上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。
- (3) 魚体 : 2006 年よりも小型であり、8 月は 18 ~ 22cm が主体。

今年 6 月の太平洋スルメイカ漁場一斉調査の結果、道南 ~ 道東太平洋の沿岸から沖合にスルメイカが広く分布し、分布密度が前年より高いことが分かりました (図 1, 2)。また今年には、道東太平洋沖合域における黒潮北上暖水の北への張り出しが強いため、スルメイカが太平洋を北上して北海道沿岸に来遊する条件は良いと考えられます。

以上のことから、漁期前半の道南 ~ 道東太平洋海域へのスルメイカの来遊量は、前年を上回ると予想されます。イカ釣り漁業の始まっていない道東太平洋では、7 月下旬 ~ 8 月上旬頃には小型ながらイカ釣りの漁獲対象となる群が来遊することが期待されます。

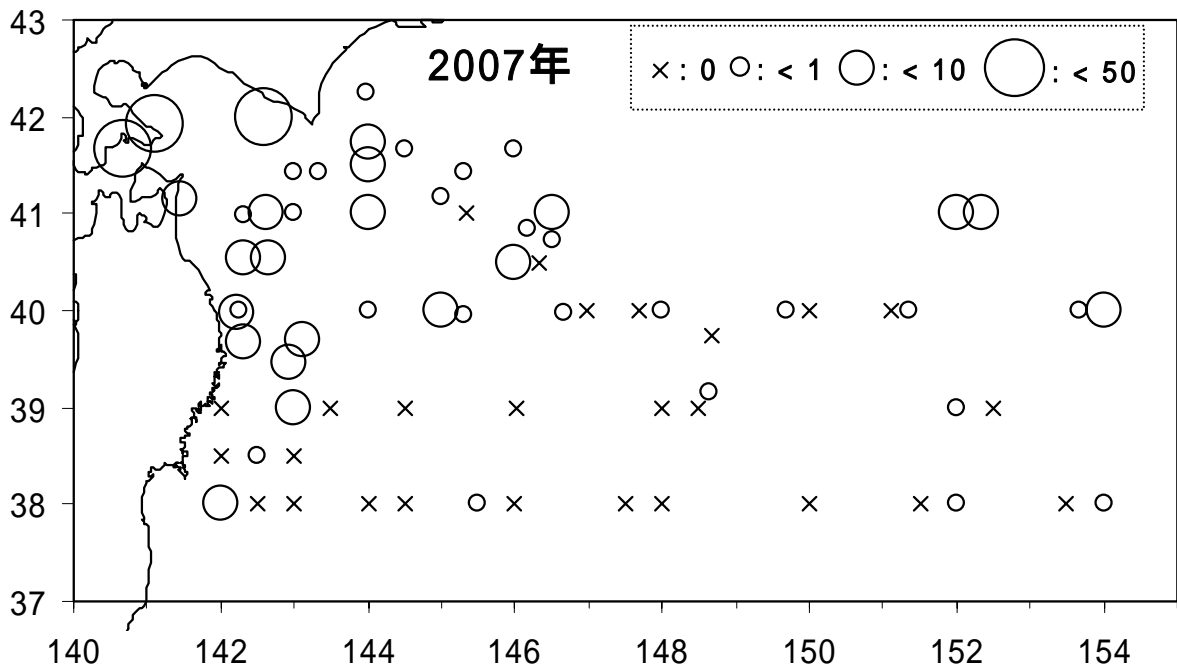


図1 2007年6月の漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度
 注) スルメイカの分布密度はCPUE(自動イカ釣機1台1時間当りの漁獲尾数)で示した。

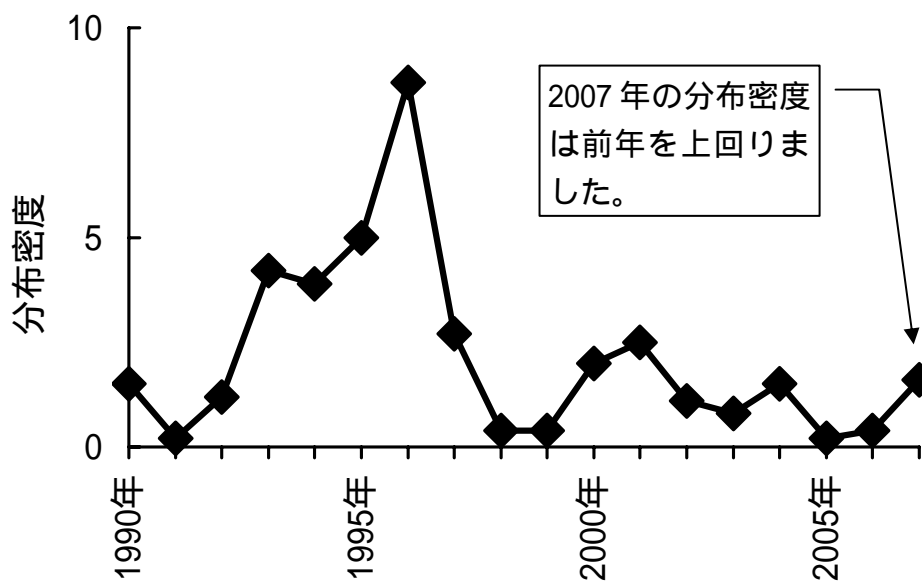


図2 6月の太平洋海域におけるスルメイカの分布密度の経年変化
 注) 分布密度は全調査点のCPUEの平均値で示した。

注) 図と元データは平成19年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料(独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所取りまとめ)などより。

(文責: 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)